

相鉄・東急直通線環境影響評価書に対する環境大臣意見

本事業は相鉄・JR直通線との接続駅となる新駅の羽沢駅から東京急行電鉄日吉駅間(以下、「計画路線」という。)を整備することにより、相模鉄道線と東京急行電鉄線との相互直通運転を行い、横浜市西部及び神奈川県中央部と東京都心部とを直結し、両地域間の速達性向上、沿線地域の活性化、利便性の向上及び新横浜都心の都市機能強化等に寄与しようとするものである。

本事業の計画路線周辺は、市街化が進んでいるものの、地表区間となる日吉駅周辺をはじめとして住宅系の土地利用も多く、病院や学校等の生活環境の保全上の配慮が特に必要な施設や温泉施設も存在することから、騒音や振動等の生活環境への影響をできる限り低減させるとともに、地下水位及び地盤沈下並びに温泉資源への影響についてできる限り低減させるよう、以下の措置を適切に講じること。また、その旨を評価書に記載すること。

1. 騒音

日吉駅付近においては、建設機械の稼働に伴う騒音レベルが一部の工種において「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」の上限と同等と予測されているとともに、計画路線と既設在来線の電車の走行に伴う複合騒音も現況とほぼ同等と予測されている。加えて、日吉駅付近で並走する県道2号線の道路騒音の現況値は、当該地域近隣で環境基準値を満たしていない。このような状況から、日吉駅付近における建設機械の稼働に伴う騒音及び供用後の電車の走行時の騒音について、なお一層の低減に努めること。

2. 地下水、地盤沈下、温泉資源

本事業による地下水位及び地盤沈下への影響はできる限り低減されるべきであり、地域特性等を踏まえた万全な施工計画の策定及び施工管理並びに事後調査の徹底に努めること。

また、本事業の計画路線が位置する綱島駅周辺には、綱島温泉が存在し、本事業で建設される構造物が想定される胚胎層の近傍を通る計画であることから、温泉資源への影響はできる限り低減されるよう、地域特性等を踏まえた万全な施工計画の策定及び施工管理に努めるとともに、温泉の状況について継続的な監視を行うこと。

3 . 廃棄物等

トンネル工事に伴う建設発生土及び建設汚泥について、実行可能な最大限の発生抑制に努めること。また、発生した建設発生土等について、実行可能な最大限の有効利用に努めること。

4 . 温室効果ガス

効率的な施工の実施が建設機械等から排出される温室効果ガス排出量の削減に資することから、温室効果ガスの排出削減に留意しつつ、効率的な施工計画を策定し工事を実施するとともに、低燃費型建設機械やLED照明、混合セメントの採用等により、建設段階における温室効果ガスの排出削減に努めること。

また、駅施設の省エネ化等を進め、供用時においてもできる限りの温室効果ガスの排出削減に努めること。